

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
多様な交流が生み出す地域の活性化	64,871,630

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		財産有効活用課 一人あたり県民所得	財産有効活用課 県庁舎31階来場者数	財産有効活用課 県庁舎31階から発信される情報の取組件数	財産有効活用課 県庁舎31階マルシェ&キッチンへの出店件数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。</small>	当初値 [単位] 329.80 万円	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 0 件
	計測年月	令和2 年 月	令和5 年 3 月	令和5 年 3 月	令和5 年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 万円	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	万円	人	件	件
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	万円	人	件	件
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	万円	人	件	件
	サ. 令和5年度増加分	10.20 万円	10,000 人	52 件	100 件
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 10.20 万円	目標値（増分） [単位] 10,000 人	目標値（増分） [単位] 52 件	目標値（増分） [単位] 100 件	
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 万円	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	万円	人	件	件
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	万円	人	件	件
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	万円	人	件	件
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	-11.10 万円	140,710 人	151 件	177 件
	テ. KPI増加分の累計（実績）	目標値に対する達成度合い -109 % ④目標値の達成は5割未満 実績値（増分） [単位] -11.1 万円	目標値に対する達成度合い 1,407 % ①目標値を達成 実績値（増分） [単位] 140,710 人	目標値に対する達成度合い 290 % ①目標値を達成 実績値（増分） [単位] 151 件	目標値に対する達成度合い 177 % ①目標値を達成 実績値（増分） [単位] 177 件
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 <small>（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））</small>	当初値はコロナ禍前の令和元年度の数値であるのに対し（R4.5月公表）、R5年度実績値は令和3年度の数値である（R6.3月公表）。コロナ禍の影響で日本全体で所得が減少傾向にあった影響を受けたものと考えられる。				
	毎月2回以上のイベントを実施し、来場者の増加につながった。		新聞等のマスメディアに加え、SNSを通じた当該施設の周知を行った。	常駐のコミュニティマネージャーを中心にコミュニティを形成することで、一般及び事業者によるマルシェ&キッチンへの出店が進んだ。	

○交付金事業の効果

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	県庁舎31階を誰もが集い、交流し、にぎわいが創出される場所とするため、起業やコミュニティづくりを支援したり、地場産業の魅力を発信するイベントを開催したりするなど、その効果が県庁舎の他のスペースや地域にも波及するよう運営をおこなったことで、県庁舎31階を中心としたコミュニティの形成が進み、来場者数もKPIを大幅に上回ったことで、にぎわい創出につながった。

今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	県庁32階官民共創スペースと一体的に運営することにより、相乗効果として、新たなコンテンツの創出や集客アップにより、認知度向上や更なる利用拡大を図る。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> KPI①の一人当たり県民所得の増加は、地方創生において極めて重要であり、検証し、改めて新たな施策を検討する必要がある。 KPI②県庁31階来場者数、KPI③県庁舎31階から発信される情報の取組件数、KPI④県庁舎31階マルシェ&キッチンへの出店件数については大幅に目標値を上回っており、本事業に一定の効果があったことが窺える。 今後も利用者の拡大が見込めるイベントを定期的に実施することにより、県庁舎31階のにぎわいの創出や利用者のコミュニティ形成に繋がっていくことを期待する。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ぐんまブランドの世界発信推進	35,075,100

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		ぐんまブランド推進課 観光入込客数	農政課 有機JAS認証の取得面積	ぐんまブランド推進課 地産地消優良店の店舗数増大	ぐんまブランド推進課 県産農畜産物等輸出実績
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。</small>	当初値 [単位] 40,587 人	当初値 [単位] 259 ha	当初値 [単位] 81 店舗	当初値 [単位] 14.9 億円
	計測年月	令和5 年 3 月	令和5 年 3 月	令和5 年 3 月	令和5 年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] ha	目標値（増分） [単位] 店舗	目標値（増分） [単位] 億円
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	5,052 人	34 ha	6 店舗	1.1 億円
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 5,052 人	目標値（増分） [単位] 34 ha	目標値（増分） [単位] 6 店舗	目標値（増分） [単位] 1.1 億円	
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] ha	実績値（増分） [単位] 店舗	実績値（増分） [単位] 億円
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	人	ha	店舗	億円
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	集計中 人	- ha	3 店舗	0.5 億円
	目標値に対する達成度合い	- %	- %	50 % ③目標値の5割以上達成	45 % ④目標値の達成は5割未満
	実績値（増分） [単位]	- 人	- ha	3 店舗	0.5 億円
デ. KPI増加分の累計（実績）	目標値に対する達成度合い	- %	50 % ③目標値の5割以上達成	45 % ④目標値の達成は5割未満	
ナ. 実績値累計（デ）の目標達成・未達理由 <small>（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））</small>	実績未発表のため評価不可 ↓ 令和6年12月に公表予定	実績未発表のため評価不可 ↓ 令和7年7月に公表予定	コロナ禍は収束したものの、小売店、飲食店、宿泊施設、惣菜店等は、事業を立て直している段階である。今後は、消費も回復基調にあり、県産食品を多く扱う小売店、飲食店、宿泊施設、惣菜店等の店舗数増大も見込まれる。	こんにゃく加工品や牛肉の輸出は順調に伸びている一方、青果物の輸出の拡大が課題である。令和6年度からは生産者の掘り起こし・育成を図るため、「ぐんまグローバルファーマー育成塾」を新たに開講する。	

○交付金事業の効果

事業効果	事業効果の内容・詳細
③地方創生に効果があった	県産農畜産物のブランド力・販売競争力の向上を図るため、首都圏での民間企業と連携した消費拡大キャンペーンを実施するとともに、輸出に関する商談～成約に至るまでの各ステップにおける伴走支援を行ったことで、輸出に取り組み事業者の裾野拡大に寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	首都圏での群馬県産農産物のPRと消費拡大を図るとともに、海外進出を目指す企業の裾野を拡大していくため、更なる情報発信と継続した支援事業を検討する。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	<p>KPI④県産畜産物等輸出実績については目標値に未達であるものの、輸出に取り組みようとする生産者への伴走型支援や、新たに輸出を始める経費の補助等の取り組みは、輸出拡大に一定の効果があったと思われる。こうした取り組みは新たに海外へ販路開拓を行う事業者を増やす取り組みであり、長期的な視点で本県産品の輸出拡大と消費拡大が見込めることから、継続的に取り組んでいただきたい。</p> <p>KPIが未達となっている③④について、しっかりと効果検証していただきたい。</p> <p>KPI④県産畜産物輸出実績は、こんにゃく・牛肉は良好であったが、青果物が不振とのこと。全体的には増加が0.5億円（達成率45%）であり、金額的には県の実績としてはとても小さな金額であり残念な結果と言わざるを得ない。時期的に注力したい分野なので、他産品も含め注力方法の再検討もしつつ継続する方向が良いのではないかと考える。</p>

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
文化資源を軸とした観光振興・地域活性化推進事業	39,948,000

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
		文化振興課	文化振興課	文化振興課	文化振興課
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		県内観光入込客数		デジタル展示の観覧者数	デジタルアーカイブ化点数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 40,587 人	当初値 [単位] 307,000 人	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 78 点
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	計測年月 令和5 年 3 月	計測年月 令和5 年 3 月	計測年月 令和5 年 3 月	計測年月 令和5 年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 点
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	人	人	人	点
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	人	人	人	点
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	人	人	人	点
	サ. 令和5年度増加分	10,000 人	5,000 人	6,000 人	724 点
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	10,000 人	5,000 人	6,000 人	724 点	
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 点
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	人	人	人	点
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	人	人	人	点
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	人	人	人	点
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	集中中 人	193,093 人	3,600 人	2,254 点
	目標値に対する達成度合い	- %	3,862 % ①目標値を達成	60 % ③目標値の5割以上達成	311 % ①目標値を達成
	実績値（増分） [単位]	- 人	193,093 人	3,600 人	2,254 点
デ. KPI増加分の累計（実績）	- %	3,862 % ①目標値を達成	60 % ③目標値の5割以上達成	311 % ①目標値を達成	
ナ. 実績値累計（デ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	実績未発表のため評価不可	各館の収蔵品をデジタル展示により周知することで、来館者の増加を図ることができた。	事業について効果的な広報が実施できていなかった。また、開催時期について、より集客が見込まれる時期に実施できなかった。今後は、メインターゲットを定めた広報戦略を行い、開催時期を休暇期間等に設定する等、対策したい。	デジタル化対象収蔵品・資料を迅速に選定し、進捗を管理することで目標を達成することができた。	

○交付金事業の効果

事業効果	事業効果の内容・詳細
② 地方創生に相当程度効果があった	県立博物館収蔵品や県立図書館所蔵の郷土資料をデジタルデータ化し、デジタルデータを活用した展示やウェブでの公開を行った。 収蔵品のデジタルデータを活用したMR展示等、新しい展示を実施することにより、新たな価値創出による郷土への愛着育成に一定の寄与があった。
今後の方針	今後の方針の理由
③ 事業の継続（事業変更を伴わない継続）	引き続き県立博物館収蔵品のデジタルデータ化を進めデジタル展示を拡充するとともに、幅広い世代が生理にわたり学びやすい環境（学びのきっかけ）づくりをさらに推進する。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	KPI②入館者数やKPI④デジタルアーカイブ化点数については大幅に目標値を上回っており、本事業が有効であったと思われる。 KPI③デジタル展示の観覧者数については、目標値に未達であるが、今後開催時期や効果的な広報の方法を検討する事で、より多くの方が作品に触れることが出来る。 ・引き続き実施していくことで、本県の魅力ある文化資源を広く周知し、関心を持った方が本県を訪れるきっかけとなる事を期待する。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
くんで動こう！若者の活躍促進事業	61,037,832

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		労働政策課 本事業を利用して就職した者のうち県内就職者数	前橋市政策推進課 ジョブセンターまえばし利用登録者の市内事業所就職者数	前橋市政策推進課 「ミライバシ～前橋の未来への架け橋～」に参加した高校生の数	労働政策課 県内出身大学生等のUターン就職率
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	当初値 [単位] 698 人	当初値 [単位] 529 人	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 30 %
		計測年月	計測年月	計測年月	計測年月
		平成30 年 3 月	平成30 年 3 月	平成30 年 3 月	平成30 年 3 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 800 人	目標値（増分） [単位] 550 人	目標値（増分） [単位] 2,000 人	目標値（増分） [単位] 35 %
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	900 人	550 人	2,000 人	40 %
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	1,000 人	550 人	0 人	45 %
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	1,100 人	550 人	0 人	50 %
	サ. 令和5年度増加分	1,200 人	550 人	0 人	50 %
		シ. 上記キ～サの累計（自動表示） 5,000 人	2,750 人	4,000 人	220 %
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 783 人	456 人	2,185 人	29 %
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	551 人	399 人	1,025 人	26 %
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	567 人	340 人	0 人	28 %
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	545 人	402 人	0 人	30 %
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	543 人	394 人	0 人	28 %
			④目標値の達成は5割未満	②目標値の7割以上達成	#DIV/0! ①目標値を達成
テ. KPI増加分の累計（実績）		2,989 人	1,991 人	3,210 人	141 %
		③目標値の5割以上達成	②目標値の7割以上達成	80% ②目標値の7割以上達成	64% ③目標値の5割以上達成
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	<p>就職者数は、令和2年度以降ゆるやかに回復しているが、コロナ禍前には戻っていない状況。これは、「売り手市場」が続き、大手企業・都市圏就職の志向が高くなったことや人手不足から首都圏大企業の採用意欲が高いことなどが影響したと考えられる。</p> <p>市内企業への就職者数については、コロナ禍により2021年度までは就職活動に急を要さない人が活動を控えるなど労働市場に大きな影響を与えていたが、徐々に企業側の人材受入れ体制が戻りはじめたことで、回復傾向にあると考えられる。</p> <p>目標値0のため、事業実施は無し。</p> <p>近年の就職活動においては、学生優位の「売り手市場」が続いており、大手企業・都市圏就職の志向が高いこと、景気回復や人口減少に伴う人手不足の中、首都圏大企業の採用意欲が高いことにより、Uターン就職率が低迷していると思われる。</p>				

○交付金事業の効果

事業効果	事業効果の内容・詳細
③ 地方創生に効果があった	「若者就職支援センター」における就職支援や首都圏の大学等と連携した合同企業説明会等の開催によって、543名の県内就職者・28%のUターン就職率の実績を上げ、地域における雇用創出に効果があった。
今後の方針	今後の方針の理由
⑤ 予定通り事業終了	交付金事業としては終了となるが、企業等と構築した関係や蓄積したノウハウを基に、若者の就職支援は継続して実施する。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	<p>近年の就職状況が「売り手市場」が続いており、都内の大手志向の傾向が強い中で、KPI①本事業を利用して就職した者のうち県内就職者数が前年度から概ね横ばいであることは一定の事業効果があったと推察されるものの、目標にこだわりを持って取り組む必要がある。</p> <p>県内就職者数を増やす事は地方創生を目指す上で、重要な課題であるため、現状の取組の問題点を分析し、より効果的な事業へ見直しをすることで、目標の達成に期待する。</p>

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
健康をコンテンツとした地域活性化促進事業	40,495,451

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		前橋市政策推進課 本事業を通じて健康づくりに取り組んだ人数	くまブランド推進課 本事業における機能性分析を活用して販売した品目数	健康長寿・社会づくり推進課 健康ポイント制度への参加者数	前橋市政策推進課 シェアサイクルの利用者数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 10 品目	当初値 [単位] 27,011 人	当初値 [単位] 0 人
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください	計測年月 年 月	計測年月 令和元 年 月	計測年月 令和元 年 4 月	計測年月 年 月

事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	KPIの当初値	KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
キ. 令和元年度増加分	(継続事業のみ)		人		品目		人		人
ク. 令和2年度増加分	(継続事業のみ)	8,000	人	4	品目	0	人	0	人
ク. 令和3年度増加分	(継続事業のみ)	8,500	人	6	品目	40,000	人	20,000	人
コ. 令和4年度増加分	(継続事業のみ)	9,000	人	6	品目	80,000	人	4,000	人
サ. 令和5年度増加分	(継続事業のみ)	2,800	人	6	品目	120,000	人	1,000	人
シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)		28,300	人	22	品目	240,000	人	25,000	人

KPIの実績値	KPIの当初値	KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
セ. 令和元年度増加分の実績値	(継続事業のみ)		人		品目		人		人
ソ. 令和2年度増加分の実績値	(継続事業のみ)	937	人	4	品目	0	人	0	人
タ. 令和3年度増加分の実績値	(継続事業のみ)	2,959	人	6	品目	27,011	人	28,490	人
チ. 令和4年度増加分の実績値	(継続事業のみ)	3,566	人	7	品目	18,162	人	11,358	人
ツ. 令和5年度増加分の実績値	(継続事業のみ)	3,169	人	6	品目	12,067	人	2,334	人
テ. KPI増加分の累計 (実績)		10,631	人	23	品目	57,240	人	42,182	人
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		113 %	①目標値を達成	100 %	①目標値を達成	10 %	④目標値の達成は5割未満	233 %	①目標値を達成
		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]	
		38 %	④目標値の達成は5割未満	105 %	①目標値を達成	24 %	④目標値の達成は5割未満	169 %	①目標値を達成

ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達成理由(達成または未達成になった理由、及び未達成の場合は今後の解決策(案))	親子で取り組む健康づくり事業では、近隣の地域に類似したイベントがあるため、参加者数増加が出来なかった。今後は、イベントの魅力向上に努め、参加者数増を目指す。 市内各所で実施している健康チャレンジ教室の参加人数が増加した。コロナによる行動制限が緩和され、使用会場の人制限がなくなった。コロナ禍前に参加していた方を中心に、参加者数が回復してきた。	精密な分析計画に基づき、大学等との連携により対象農産物の健康に関わる成分分析のデータ確保を実現。エビデンスに基づく(データを活用した)販売PRにつなげることができた。	コロナ禍でのアプリリリース(令和3年6月時点)となったため、プロモーション活動が制限された状態であった。今後はコロナ禍明けでの多様なイベントの実施や、市町村や企業、保険者への活用を促しアプリ活用の幅を広げていく。
---	--	---	--

○交付金事業の効果(地方創生への効果)

[全員]

事業効果	事業効果の内容・詳細
③地方創生に効果があった	健康増進を目的とした県公式アプリ「G-WALK+」について、アプリの運営管理を行い、また改修を通じてアプリ機能の充実を図った結果、アプリユーザー及びユーザー平均歩数は増加傾向であった。 歩数増加は医療費削減に有効だとのエビデンスもあるため、県民の健康増進と医療費削減効果に一定程度寄与したと考えられ、またアプリ内での健康情報の配信等により、健康教育でも効果があると考えられる。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し(一部事業の見直しを伴う継続)	今までは県が主体となってイベントの実施や広報活動を実施してきたが、今後は市町村や企業、保険者等、多様な主体を巻き込んで活動を行うことで、更なるユーザーの獲得や、アプリ活用の幅を広げていく。

外部有識者評価	有識者コメント
①(本事業が地方版)総合戦略のKPI達成に有効であった	目標値に届かなかったKPIもあるものの、KPI②機能性分析を活用して販売した品目数やKPI④シェアサイクルの利用者数は目標値に達しており、一定の事業効果があったものと思われる。 KPI③健康ポイント制度の参加者数については、県主体の広報活動を継続しながら、県が中心となってモデルとなる地域への介入やアプリを使った効果判定等を企業と連携して行うことを勧める。また、独自に別アプリを導入している市町村もあり、そのアプリの効果も市町村ごとで確認しながら進めている時期でもあるため、「G-WALK+」を導入しない地域もある。どのアプリを使っても政策として「歩数の確認」「健康情報の周知」「フレイル対策のための環境整備」「身体活動・運動の普及」に向けた働きかけを県が主体となって事業を進めていくことが必要と考える。 ・人口減少が進む中で、地域の活力を維持するためには県民一人ひとりが長く健康を維持する必要がある。また県民の健康と幸福度については密接な関連性があるため、より一層取り組みを進めていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
Gunma Innovation Top Floorを拠点とした群馬創造革新事業	80,750,549

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1			KPI 2			KPI 3			KPI 4			
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		デジタルトランスフォーメーション戦略課 地域課題解決ラボラトリーによる実証件数			デジタルトランスフォーメーション戦略課 資金調達プロセスを活用して獲得した金額			メディアプロモーション課 本県の動画・放送スタジオを活用して配信したコンテンツ数			eスポーツクリエイティブ推進課 ロケ誘致件数（撮影支援等件数）			
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値	[単位]		当初値	[単位]		当初値	[単位]		当初値	[単位]		
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	0	件		0	千円		0	本		20	件		
		計測年月			計測年月			計測年月			計測年月			
		令和元	年	月	令和元	年	月	令和元	年	月	令和2	年	3	月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	10	件		42,000	千円		450	本		20	件		
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	15	件		27,000	千円		495	本		20	件		
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	16	件		27,000	千円		545	本		20	件		
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	24	件		27,000	千円		545	本		20	件		
シ. 上記～サの累計（自動表示）		目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		目標値（増分）	[単位]		
		65	件		123,000	千円		2,035	本		80	件		
KPIの実績値	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	1	件		0	千円		1,063	本		34	件		
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	26	件		110	千円		1,393	本		37	件		
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	16	件		40,556	千円		1,269	本		48	件		
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	17	件		34,653	千円		1,260	本		59	件		
	※見込みではなく実績をご記載ください。		目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い		
		71	%	②目標値の7割以上達成	128	%	①目標値を達成	231	%	①目標値を達成	295	%	①目標値を達成	
		実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		実績値（増分）	[単位]		
		60	件		75,319	千円		4,985	本		178	件		
テ. KPI増加分の累計（実績）		目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			目標値に対する達成度合い			
		92	%	②目標値の7割以上達成	61	%	③目標値の5割以上達成	245	%	①目標値を達成	223	%	①目標値を達成	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））		本事業も4年目となり庁内での認知が上がり、相談件数及び実績も伸びている。			令和2～3年のコロナ禍により、セミナーなどのイベントが実施できず、十分な周知ができなかったため。			インフルエンサーとのコラボレーションによる縦型ショート動画の制作に注力し、再生回数を伸ばすことができた。			地域FC・市町村との連携強化や、専任職員によるロケ支援体制強化、SNS等による積極的な情報発信を行ったため。			

○交付金事業の効果（地方創生の効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	官民共創により新たな事業の創出及び地域課題の解決を図り、社会の変革につなげていく拠点として「NETSUGEN」を運営し、そこで開催されたセミナー・イベント数は増加の一途を辿っており、KPIを大きく上回る成果を上げた。また、革新的なコンテンツプロモーション事業として、県庁舎32階に開設した動画・放送スタジオを活用して県内外に本県の様々な魅力情報を発信し、関係人口の創出に寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	ロケ誘致については、国内最大の映像制作インセンティブを実施することで更なる強化を図るとともに、参加者同士の交流や完成作品のPRにも重きを置いた事業を行い、映像クリエイターへの支援・関係人口の増加を図る。
外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	-KPI①地域課題解決ラボラトリーによる実証件数が目標値を上回り、NETSUGENを中心に官民共創の取組が浸透してきたと考えられる。また、KPI②資金調達については累積での目標には達していないものの、コロナ禍以降は順調に推移しており、事業効果が十分であったと認められる。 -時代に即した動画による情報発信に取り組んでいる部分は評価に値する。今後はクリエイティブや再生回数も意識した、動画作りを行ってほしい。 -KPI④ロケ誘致は、本県の魅力を発信し、その後の観光誘客にも繋がる取組であるため、取組を継続していただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
産業ニューノーマル創出事業	11,628,033

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		地域企業支援課 民間事業者による新ビジネスモデル構築件数（新規事業分野への参入、新技術・商品開発、複数事業者の事業連携、新たな業務ツール・販売チャネル構築等）	地域企業支援課 デジタル技術の活用等により生産性が向上した事業者数	自然環境課 + 廃棄物リサイクル課 尾瀬環境保全、プラごみ削減優秀プランの実施事業者数	産業政策課 SDGs企業選定制度：選定企業数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 0 社	当初値 [単位] 0 社	当初値 [単位] 0 社
	※事業実施計画上の事業開始前（現時点）後ご記載ください。	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和3 年 4 月

事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ）	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]
	キ. 令和元年度増加分	→		件		社		社	
ク. 令和2年度増加分	→		件		社		社		社
ケ. 令和3年度増加分	→	10	件	3	社	20	社	40	社
コ. 令和4年度増加分	→	10	件	3	社	22	社	40	社
サ. 令和5年度増加分	→	10	件	3	社	24	社	40	社
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	→	目標値（増分） [単位] 30 件		目標値（増分） [単位] 9 社		目標値（増分） [単位] 66 社		目標値（増分） [単位] 120 社	

KPIの実績値	（継続事業のみ）	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]
	セ. 令和元年度増加分の実績値	→		件		社		社	
ソ. 令和2年度増加分の実績値	→		件		社		社		社
タ. 令和3年度増加分の実績値	→	15	件	3	社	1	社	46	社
チ. 令和4年度増加分の実績値	→	15	件	3	社	1	社	44	社
ツ. 令和5年度増加分の実績値	→	0	件	3	社	1	社	36	社
デ. KPI増加分の累計（実績）	→	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	→	0 % ④目標値の達成は5割未満		100 % ①目標値を達成		4 % ④目標値の達成は5割未満		90 % ②目標値の7割以上達成	
→	実績値（増分） [単位] 30 件		実績値（増分） [単位] 9 社		実績値（増分） [単位] 3 社		実績値（増分） [単位] 126 社		
→	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		
→	100 % ①目標値を達成		100 % ①目標値を達成		5 % ④目標値の達成は5割未満		105 % ①目標値を達成		

ナ. 実績値累計（デ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	令和3年度から補助対象経費をハード事業へも拡充し、多くの応募があったと思われる。なお、令和4年度をもって当該事業は終了したため、令和5年度実績は0件。	試験場への機器導入により、試験・加工依頼企業は、生産性向上に効果があった。	廃棄物リサイクル課が予定していた毎年20件程を目標とする支援事業は、支援方法を見直し、補助金による事業化支援ではない形となり、当交付金を使用しないこととなった。そのため実績としては自然環境課で予定している毎年2件程を目標とする官民共創事業のみとなり、相対的に目標達成が困難となった。	SDGsに積極的に取り組む県内企業からの、自社の取組を広く発信し新たな事業展開に繋げたいニーズが大きく、事業への期待が高い。
--	---	---------------------------------------	---	--

○交付金事業の効果（地方創生への効果）【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	県内事業者がSDGsビジネスに取り組む事例のうち、先進的・優良な36事例を「SDGsぐんまビジネスプラクティス」として選定し、県ホームページや事例集等で紹介したことで、県内企業へのSDGsの普及啓発及び経営戦略への導入に効果があった。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを併う継続）	県内企業からのニーズも高く、引き続きSDGsに取り組む事業者を後押しする。これまでの取組の成果を活かし、「普及」から「活用」に重点を移し、SDGsを県内企業の価値向上に結び付けていく。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	・本事業を通じて、新たなビジネスモデルの構築、DXによる県内企業の生産性の向上がうかがえる。DXによる生産性の向上はこれからの人口減少社会において必要な観点であるため、取組を継続していただきたい。 ・また、SDGs認証にも取り組まれており、県内企業への普及啓発に効果があったと思われる。 ・県内企業の稼ぐ力の向上、SDGsは今後の地方創生にも欠かすことの出来ない観点であるため、引き続き取組を進めていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ニューノーマルに対応した観光県くま育成プロジェクト	46,099,214

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1				KPI 2				KPI 3				KPI 4			
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		観光魅力創出課				観光魅力創出課				観光魅力創出課				観光魅力創出課			
		新規コンテンツ開発件数				課題解決型人材育成事業に参加した人数				宿泊者一人あたりの平均宿泊日数				宿泊者のうち県内居住者の割合			
		当初値		[単位]		当初値		[単位]		当初値		[単位]		当初値		[単位]	
KPIの当初値		0 件		0 人		1.18 泊		16.40 %		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月	
オ. 事業実施計画の申請時点		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月		令和3 年 3 月	
※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。																	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分		件		人		泊		泊		%		%		%		%
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	15	件	300	人	0.01	泊	1.20	%		%		%		%		%
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	15	件	400	人	0.01	泊	1.20	%		%		%		%		%
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	25	件	500	人	0.01	泊	1.20	%		%		%		%		%
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	55	件	1,200	人	0.03	泊	3.60	%		%		%		%		%	
KPIの実績値	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値		件		人		泊		泊		%		%		%		%
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	9	件	330	人	-0.02	泊	9.74	%		%		%		%		%
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	21	件	68	人	0.04	泊	-4.88	%		%		%		%		%
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	16	件	103	人	0.01	泊	-3.34	%		%		%		%		%
	テ. KPI増加分の累計（実績）	46	件	501	人	0.03	泊	1.52	%		%		%		%		%
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	データプラットフォームデータを活用し、積極的に地域と連携したコンテンツづくりを行った。令和5年度は施策提案のためのデータ分析に注力したため実績値としては減少した。				事業実施内容の変更により、オンラインイベントの実施がなくなったことから、参加者数が想定ほど伸びなかった。今後、実施方法について検討し成果につなげる。				県内旅行の長期滞在化や高付加価値化の推進を行った効果によるものと考えられる。				コロナ禍における旅行需要喚起のための支援施策（県民割）等が終了した影響があると考えられる。一方で、延べ宿泊者数・実宿泊者数は増加していることから、県外宿泊者数の割合が伸びていると考えられる。				

○交付金事業の効果（地方創生への効果） 【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
③ 地方創生に効果があった	計4回実施した「ニューツーリズム普及ゼミ」には延べ91人の参加があり、仕組みづくり（ソフト）を資金面で支援する「ニューツーリズム創出支援事業」では4県の取組を支援し、「新たな観光スタイル」創出に寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
⑤ 予定通り事業終了	本事業によって従来型の旅行スタイルからニューノーマルに対応した「新たな旅行スタイル」への転換の促進に寄与し、今後は、コロナ禍が明けて回復しつつある旅行需要を取り込むための事業に移行するため。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業で注力されたデータ分析を活用して、引き続き魅力的な観光コンテンツの開発に取り組んでいただきたい。 今後の産業振興においては、課題解決型人材の育成は欠かすことのできないテーマと考えられるため、引き続き、様々な事業を通じて人材育成に取り組んでいただきたい。 新型コロナウイルス移行を受けて、マイクロツーリズム等県内旅行者のニーズ拡大も予想される。一方でインバウンドの需要等も増加しているため、宿泊者のうち県内居住者の割合が目標値として適当かどうか、しっかりと分析した上で、施策を検討していただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県インバウンド誘客推進事業	33,670,000

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1				KPI 2				KPI 3				KPI 4				
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		観光魅力創出課				観光魅力創出課				観光魅力創出課				観光魅力創出課				
		外国人宿泊者数				外国人宿泊者1人あたり平均宿泊日数				専用サイトセッション数				Gunma Excellence施設数				
		当初値		[単位]		当初値		[単位]		当初値		[単位]		当初値		[単位]		
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	55,000		人泊		1.17		泊		210,896		セッション		37		施設		
		計測年月				計測年月				計測年月				計測年月				
		令和2	年	12	月	令和2	年	12	月	令和3	年	3	月	令和2	年	3	月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分		人泊				泊				セッション				施設			
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	45,000	人泊			0.01	泊			39,104	セッション			8	施設			
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	100,000	人泊			0.10	泊			20,000	セッション			10	施設			
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	200,000	人泊			0.03	泊			650,000	セッション			15	施設			
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			目標値（増分）	[単位]			
		345,000	人泊			0.14	泊			709,104	セッション			33	施設			
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値		人泊				泊				セッション				施設			
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	-37710	人泊			0.30	泊			-114,469	セッション			20	施設			
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	29,380	人泊			-0.07	泊			486,878	セッション			13	施設			
	ヅ. 令和5年度増加分の実績値		193,220	人泊			-0.18	泊			-105,701	セッション			12	施設		
			目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い			
		97 %	② 目標値の7割以上達成		-600 %	④ 目標値の達成は5割未満		-16 %	④ 目標値の達成は5割未満		80 %	② 目標値の7割以上達成						
		実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			実績値（増分）	[単位]			
		184,890	人泊			0.05	泊			266,708	セッション			45	施設			
	テ. KPI増加分の累計（実績）	目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				
		54 %	③ 目標値の5割以上達成		36 %	④ 目標値の達成は5割未満		38 %	④ 目標値の達成は5割未満		136 %	① 目標値を達成						
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））		インバウンド誘客のための受入環境整備、コンテンツ創出支援を進めるとともに、認知度向上のためのプロモーションを実施する。				長期滞在するための体験コンテンツ不足が要因の一つであるため、コンテンツ創出に向けた支援を実施する。				簡体字、タイ語については令和4年度よりセッション数は増加したものの、英語、繁体字のセッション数が伸びず、目標値を達成しなかった。アクセス増に向けて、アクセス分析を継続し、改善、新規ストーリーの作成や新規デジタルコンテンツの追加、サイト誘引のための広告を実施する。				各種研修会を実施し、受入観光整備が進んだことによりGunma Excellence施設数が増加した。				

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
③ 地方創生に効果があった	本事業を通じて、海外における群馬県認知度向上及び県内施設における受入環境の整備に一定の寄与があったと考えられる。
今後の方針	今後の方針の理由
① 追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	海外向け情報発信及び受入環境整備に加え、体験コンテンツの創出支援を通して、更なる誘客及び長期滞在化を図る。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	・令和5年の訪日客消費額は過去最高を記録しており、訪日客数もコロナ前の8割に回復している。 ・KPI①外国人宿泊者数は順調に推移しているが、県内消費を増加させるためには、平均宿泊日数を増加させることも重要である。 ・また、訪日観光客に対して、群馬県の魅力をPRするためには、情報発信や受入れ施設の充実が必要不可欠な取組であり、事業結果を十分に分析し、今後の施策に活かしていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
eスポーツを活用した産業・地域活性化事業	27,262,354

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1				KPI 2				KPI 3				KPI 4			
		eスポーツ・クリエイティブ推進課				eスポーツ・クリエイティブ推進課				eスポーツ・クリエイティブ推進課				eスポーツ・クリエイティブ推進課			
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		全国規模の大会・イベントの開催数				群馬県主催等事業（大会・イベント）の視聴回数				eスポーツ活動（部活・同好会）に取組む企業数				人材育成数（セミナー・各種講座等の参加者・視聴者数）			
		当初値	[単位]			当初値	[単位]			当初値	[単位]			当初値	[単位]		
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。</small>	1	回			10,000	回			0	社			900	人		
		計測年月				計測年月				計測年月				計測年月			
		令和2	年	10	月	令和2	年	10	月	令和2	年	10	月	令和2	年	10	月

事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4	
		目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. 令和元年度増加分		回		回		社		人
	ク. 令和2年度増加分		回		回		社		人
	ク. 令和3年度増加分	2	回	4,500	回	6	社	400	人
	コ. 令和4年度増加分	1	回	3,000	回	3	社	300	人
	サ. 令和5年度増加分	1	回	3,000	回	3	社	300	人
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	4	回	10,500	回	12	社	1,000	人

KPIの実績値		実績値 (増分)		実績値 (増分)		実績値 (増分)		実績値 (増分)	
		実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	セ. 令和元年度増加分の実績値		回		回		社		人
	ソ. 令和2年度増加分の実績値		回		回		社		人
	タ. 令和3年度増加分の実績値	2	回	15,200	回	26	社	1,300	人
	チ. 令和4年度増加分の実績値	3	回	24,400	回	17	社	67	人
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	3	回	25,800	回	14	社	108	人
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	8	回	65,400	回	57	社	1,475	人
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		300 %	①目標値を達成	860 %	①目標値を達成	467 %	①目標値を達成	36 %	④目標値の達成は5割未満
		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]	
		200 %	①目標値を達成	623 %	①目標値を達成	475 %	①目標値を達成	148 %	①目標値を達成

ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	県が主催する全国規模のeスポーツイベントは、参加者、視聴者数及び来場者数は順調に伸びている。群馬県が「eスポーツ先進県」として、全国で認知されるに従い、既存のeスポーツイベントが群馬を会場に検討しはじめることとなり、将来の交流人口の増大に寄与しはじめることである。令和5年度は、運営を県内事業者中心に委託し、直接市場だけでなく、周辺地域の活性化に寄与した。	視聴回数は、年々増加している。令和5年度は、運営を県内事業者中心に委託し、直接市場だけでなく、周辺地域の活性化に寄与した。	県主催のeスポーツリーグ参加企業数は年々増加している。県内企業の中にはeスポーツを取り入れた社内外交流が活発化しており、県内のeスポーツに対する理解度向上に寄与した。またeスポーツを通じた異業種交流が活発になるなど新たなビジネス機会の創出に寄与した。
--	--	---	---

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
③地方創生に効果があった	定期的なeスポーツ大会やイベントを開催し、県内のeスポーツ関連市場にノウハウを蓄積させることができた。市町村、関係団体等とも連携し、eスポーツへの理解を醸成するとともに、将来的に民間が自立して主体的にeスポーツ関連事業に取り組みやすくなることにより、地域経済活性化につなげることができた。
今後の方針	今後の方針の理由
④追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	県内において、eスポーツを産業として周知・理解醸成を図り、新たに取り組み企業を増やすとともに、県外の企業に対しても本県の取組を周知していくことで、協賛金・企業版ふるさと納税を獲得し、自立を図りながら、官民で連携した事業を推進していく。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	内容の変更により、単年度の目標値に届いていない取組があるが、累計では目標値は達成しており、また、より実践的で質を重視した取組としたことで、関係人口の増加につながるなど、一定の事業効果があったと推察される。 ・着実に県内外に「eスポーツ先進県」としての認知が広がっており、関係人口の拡大が進められていることから、今後は将来的な民間による自立運営に向けた取り組みに期待したい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ぐんまのクリエイティブ拠点化推進	34,422,745

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1				KPI 2				KPI 3				KPI 4			
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		eスポーツ・クリエイティブ推進課				eスポーツ・クリエイティブ推進課				-				文化振興課			
KPIの当初値		デジタルクリエイティブセンターイベント参加者数				クリエイターデータベース登録者数				-				メディア芸術を活用したクリエイティブ人材の育成			
オ. 事業実施計画の申請時点		当初値 [単位]				当初値 [単位]				当初値 [単位]				当初値 [単位]			
※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」に記載ください		0 人				0 人				-				0 人			
計測年月		計測年月				計測年月				計測年月				計測年月			
令和3 年 3 月		令和3 年 3 月				令和3 年 3 月				令和3 年 3 月				令和2 年 3 月			
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定		目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]			
キ. 令和元年度増加分		-				-				-				-			
ク. 令和2年度増加分		-				-				-				-			
ク. 令和3年度増加分		200 人				40 人				-				0 人			
コ. 令和4年度増加分		75 人				20 人				-				1,000 人			
サ. 令和5年度増加分		80 人				21 人				-				500 人			
シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)		目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]				目標値 (増分) [単位]			
-		355 人				81 人				-				1,500 人			
KPIの実績値		実績値 (増分) [単位]				実績値 (増分) [単位]				実績値 (増分) [単位]				実績値 (増分) [単位]			
セ. 令和元年度増加分の実績値		-				-				-				-			
ソ. 令和2年度増加分の実績値		-				-				-				-			
タ. 令和3年度増加分の実績値		200 人				40 人				-				0 人			
チ. 令和4年度増加分の実績値		1,110 人				8 人				-				566 人			
ツ. 令和5年度増加分の実績値		1,445 人				26 人				-				570 人			
①目標値を達成		1806 %				124 %				%				114 %			
②目標値の7割以上達成		776 %				91 %				%				76 %			
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))		委託事業者との連携により、イベント自体の周知や内容に力を入れると共に、イベント回数を増やすなど取り組んだため。				令和4年度のクリエイター登録が少なかったが、令和5年度は紹介するクリエイターを担当係以外(課全体)でも繋がりのあるクリエイターについても紹介を行ったことで概ね達成することができた。								群馬県内に向けて積極的な発信を行ったことで、応募人数が増加したが、群馬県外に向けては、広報が十分とは言えず、県外の作品応募人数が伸び悩んだから。			

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	デジタルクリエイティブ人材の育成について、デジタルクリエイティブセンターの運営や県内市町村への出張講座、サテライト拠点の整備を支援し、1つの市が実際に拠点の整備を行う本事業を通して、デジタルクリエイティブ人材の育成が県内市町村へ波及しており、地方における産業創出の機運が高まっていると考えられる。
今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	県内のデジタルクリエイティブ人材の育成を強化及び広域化させつつ、企業誘致活動をはじめとする産業集積に力を入れることで、県内に新たな雇用及び産業の創出を図りたい。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	いずれの指標も半年度目標を達成し、かつ前年度から実績を伸ばしている。 ・デジタルクリエイティブセンターのサテライト拠点の整備、県外企業の誘致成功など、これまでの取組が実を結び始めており、事業の効果が認められる。 ・デジタル・クリエイティブ産業の創出を目指す群馬県において重要な取組であるため、県内市町村や企業等を巻き込んだ事業展開に期待したい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ものづくり産業DX推進事業	71,840,214

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		地域企業支援課 5G適用可能技術導入支援件数	地域企業支援課 デジタルエンジニア育成関連事業修了者数	地域企業支援課 CAE活用企業比率	地域企業支援課 金属精層技術の活用による試作等受託件数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 %	当初値 [単位] 0 件
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] %	目標値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	件	人	%	件
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	1 件	10 人	0 %	0 件
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	2 件	60 人	55 %	5 件
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	4 件	60 人	60 %	7 件
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 7 件	目標値（増分） [単位] 130 人	目標値（増分） [単位] 115 %	目標値（増分） [単位] 12 件
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] %	実績値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	件	人	%	件
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	1 件	22 人	0 %	0 件
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	6 件	87 人	46.15 %	0 件
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	5 件	85 人	46.25 %	0 件
		デ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分） [単位] 12 件 目標値に対する達成度合い 125 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] 194 人 目標値に対する達成度合い 142 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] 92.4 % 目標値に対する達成度合い 77 % ②目標値の7割以上達成
ナ. 実績値累計（デ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	「デジタルソリューションラボ」を拠点とした支援により、中小企業での導入が進んだことにより目標を達成した。	各種人材育成講座に対する受講希望者が定員を上回ったことにより、目標を達成した。	サプライヤー企業におけるCAE導入のハードルは費用面で非常に高く、急激な浸透は見込めないが、当事業を通してCAE導入の重要性について理解を促し、中・長期的視点で目標値を達成していきたい。	試作等受託件数は0件であり、目標達成率は0%であった。目標達成に向けた取組として、令和6年度は金属精層の試作に対する支援事業を新たに開始予定。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	くまDX技術革新補助金では11件、くま技術革新チャレンジ補助金では28件を採択し、県企業の製品開発等を支援した。事業効果は今後3～5年間フォローするが、これまでの傾向として6割超の企業化、5倍前後の経済波及効果が見られることから一定の寄与があるものと考えられる。
今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	時代の要請に応じたデジタル活用案件で利用が図られているため、補助事業は継続して実施するが、利用企業の新陳代謝を促す必要が感じられる。そのため、前年度採択企業に対する減点や、経営革新計画、BCP、パートナーシップ構築宣言といった事業継続に積極的な企業は加点するなど、審査運営方針をブラッシュアップしながら実施していく。
外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	中・長期的に取り組む必要のある分野ではあるが、成果の出ないKPI④金属精層技術の活用については根子入れが必要である。 KPI①5G適用可能技術導入数やKPI②デジタルエンジニアの研修終了者数は着実に積み上げてきており、DX化の土台ができてきたことから、継続的なフォローを行っていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
ニューノーマルに対応した水産業を核とした地域振興	13,553,350

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4	
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		蚕糸特産課 アユ漁獲量	蚕糸特産課 ニジマス生産量に占めるブランド魚の割合	蚕糸特産課 新魚種等の開発数	蚕糸特産課 神流川冬季特設釣り場入場者数	
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 40 トン	当初値 [単位] 8 %	当初値 [単位] 0 種類	当初値 [単位] 1,516 人	
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	計測年月 令和2 年 月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] トン	目標値（増分） [単位] %	目標値（増分） [単位] 種類	目標値（増分） [単位] 人	
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	トン	%	種類	人	
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	0 トン	1.0 %	0 種類	100 人	
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	5 トン	1.0 %	1 種類	100 人	
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	5 トン	1.0 %	1 種類	100 人	
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 10 トン	目標値（増分） [単位] 3 %	目標値（増分） [単位] 2 種類	目標値（増分） [単位] 300 人	
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] トン	実績値（増分） [単位] %	実績値（増分） [単位] 種類	実績値（増分） [単位] 人	
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	トン	%	種類	人	
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	-17 トン	8.7 %	0 種類	1,055 人	
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	37 トン	1.0 %	1 種類	571 人	
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	-15 トン	11 %	1 種類	156 人	
		テ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分） [単位] 5 トン 目標値に対する達成度合い -300 % ④目標値の達成は5割未満	実績値（増分） [単位] 20.7 % 目標値に対する達成度合い 1,100 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] 2 種類 目標値に対する達成度合い 100 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] 1,782 人 目標値に対する達成度合い 156 % ①目標値を達成
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	天候不順やダム放流に伴う、増水、濁水、冷水などが、漁獲量を左右した主な要因と言える。今後も、河川環境変化に対応でき、病気にも強い優良種苗の作出と供給に向けた取り組みを行っている。		コロナ禍でニジマスの需要は減少したが、ブランド魚の需要は増加し、かつ、生産者も増えたため、ブランド魚の割合が増加した。		新ブランド魚候補を作出することに成功し、今後は養殖場への普及指導を行っていく。	
				遊漁者にハロスチの認知度が向上したこと、釣り場の改修などが増加した理由と考えられる。		

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	本事業を通し、本県特有ブランド魚の活用により、魅力ある食の提供や釣り目的の観光誘客に繋げ、地域における業界の所得向上、新たな人の流れの推進に寄与があったと考えられるため。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	既存のブランド魚に加え、本県オリジナルの新たなブランド魚の生産技術研究と高品質化を行っていくことで、一層の事業効果が見込まれることから、事業を継続していく。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	・天候不順やダム放流の影響により、KPI①アユ漁獲量が減少となったことは残念だが、ブランド魚の認知度の向上や需要の増加により、観光客の増加や生産量の拡大など業界の活性化が見られる。 ・引き続き県特有のブランド魚の活用を進め、業界の活性化、地域振興につなげていただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
始動人輩出のための教育イノベーション	72,807,820

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1				KPI 2				KPI 3				KPI 4				
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		戦略企画課				デジタルトランスフォーメーション戦略課				生涯学習課				労働政策課				
KPIの当初値		官民共創コミュニティから生まれた共創の取組件数				地域CTクラブ等で講座を受講した児童の数				「中高生の新たな学びの拠点」利用率(1日のピーク時の利用率の年間平均)				中高生向け課題解決型学習プログラム修了者				
オ. 事業実施計画の申請時点	※事業実施計画上の「事業開始前(現時点)」をご記載ください。	当初値	[単位]			当初値	[単位]			当初値	[単位]			当初値	[単位]			
		0	件			0	人			0	%			0	人			
		計測年月				計測年月				計測年月				計測年月				
		2022	年	3	月	2022	年	3	月	2022	年	3	月	2022	年	3	月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	(継続事業のみ)キ. 令和元年度増加分	目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			
			件				人				%				人			
	(継続事業のみ)ク. 令和2年度増加分		件				人				%				人			
	(継続事業のみ)ク. 令和3年度増加分		件				人				%				人			
	(継続事業のみ)コ. 令和4年度増加分		15	件			400	人				%			10	人		
サ. 令和5年度増加分		16	件			50	人			0.4	%			10	人			
シ. 上記キ～サの累計(自動表示)		目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			目標値 (増分)	[単位]			
		31	件			450	人			0.4	%			20	人			
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	(継続事業のみ)セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			
			件				人				%				人			
	(継続事業のみ)ソ. 令和2年度増加分の実績値		件				人				%				人			
	(継続事業のみ)タ. 令和3年度増加分の実績値		件				人				%				人			
	(継続事業のみ)チ. 令和4年度増加分の実績値		18	件			436	人			0	%			24	人		
	ツ. 令和5年度増加分の実績値		21	件			38	人			0.9	%			27	人		
			目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い			
		131	%	①目標値を達成		76	%	②目標値の7割以上達成		225	%	①目標値を達成		270	%	①目標値を達成		
		実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			実績値 (増分)	[単位]			
		39	件			474	人			0.9	%			51	人			
		目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				目標値に対する達成度合い				
		126	%	①目標値を達成		105	%	①目標値を達成		225	%	①目標値を達成		255	%	①目標値を達成		
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))	地域別未来ビジョン策定ワークショップについて、これまでのノウハウを活かし、これまで以上に市町村の課題に寄り添ったテーマを設定できたことや、これまで3年間に渡って実施してきた官民共創の取組によるアイデア実装が県内で広く展開され、多くのアイデアを実装させることができた。				令和6年度は県内5カ所の学童クラブにて地域ICTクラブを開催。参加人数をさらに増やせるように事業を実施する。				ICTを活用した授業改善を推進することにより、学校における1人1台端末の活用が増えたため。				学校や学年の垣根を越えたグループで身の回りの社会課題を探り、ICTを活用した解決方法の立案・実装までを行う学習プログラムに魅力を感じる中高生が多いと考えらる。					

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	官民共創ギルドは、県・市町村職員、民間企業などを構成メンバーとして、共創の技術を実践的に活かす機能集団をめぐらし、アイデアの実装支援や外部講師を招いて共創の技術を学ぶワークショップを実施した。ワークショップで生まれたアイデアに基づき、7件の取組が実現し、「官民共創コミュニティ」の育成に寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	県内中高生を対象とした社会課題解決型学習プログラムの実施にあたっては、より社会ニーズに焦点をあてたプログラムへの改善を検討する。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	すべてのKPIについて累計の目標を達成している。KPI①については、未来共創ワークショップや官民共創ギルドなど、直接的に官民共創の取り組みを増やす事業が効果的に作用したと考えられる。KPI②については、単年度でみると参加者38人と目標を達成できていない。講座の開催が4カ所が予定通りであるならば、1カ所あたりの参加者数を増やすための工夫が必要と考えられる。KPI④については、各年度において目標値を達成しており効果的であったと考えられる。その他事業によりICT活用が重要であるという中高生の意識付けを行ったことも参加者を増やす要因であると考えられる。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
次代を見据えた産業構造の転換・強化促進事業	22,994,879

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4		
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		産業政策課		地域企業支援課		未来投資・デジタル産業課		ぐん外課、産政課、未デジ課		
DXに取り組んだ企業の割合		事業多角化（新分野進出）件数		スタートアップ支援事業による支援起業家数		関連人材育成数（セミナー・各講座の参加者数）				
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	当初値	[単位]	
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	5.4	%	0	件	0	者	0	人	
		計測年月		計測年月		計測年月		計測年月		
		令和3	年	月	令和3	年	月	令和3	年	月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ）	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	目標値（増分）	[単位]	
	キ. 令和元年度増加分		%		件		者		人	
	（継続事業のみ）		%		件		者		人	
	ク. 令和2年度増加分		%		件		者		人	
	（継続事業のみ）		%		件		者		人	
ク. 令和3年度増加分		%		件		者		人		
（継続事業のみ）		%		件		者		人		
コ. 令和4年度増加分	15	%		15	件	15	者	80	人	
（継続事業のみ）		%		件		者		人		
サ. 令和5年度増加分	35	%		18	件	25	者	80	人	
シ. 上記～サの累計（自動表示）	50	%		33	件	40	者	160	人	
KPIの実績値	（継続事業のみ）	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	実績値（増分）	[単位]	
	セ. 令和元年度増加分の実績値		%		件		者		人	
	（継続事業のみ）		%		件		者		人	
	ソ. 令和2年度増加分の実績値		%		件		者		人	
	（継続事業のみ）		%		件		者		人	
	タ. 令和3年度増加分の実績値		%		件		者		人	
	（継続事業のみ）		%		件		者		人	
チ. 令和4年度増加分の実績値	23.4	%		38	件	54	者	1,187	人	
ツ. 令和5年度増加分の実績値		%		43	件	67	者	847	人	
				目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		
	0	%	④目標値の達成は5割未満	239	%	①目標値を達成	268	%	①目標値を達成	
テ. KPI増加分の累計（実績）		%		81	件	121	者	2,034	人	
				目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		
47	%	④目標値の達成は5割未満	245	%	①目標値を達成	303	%	①目標値を達成		

ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由

達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案）	民間シンクタンクの調査結果を活用していたが、令和5年度の調査からDXに取り組んだ企業の割合が把握できなくなったため。（計測不可）	様々な専門性を持つコーディネーターが、連日企業訪問を実施しており、県内企業の中でも認知されてきたことで、関係企業を紹介されることが増えたため。	各種事業を通じて、事業連携・拡大のための場づくりを行うことで、実証事業や資金調達につなげることができたため。
---------------------------------	--	---	--

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	各種事業を通じて、事業連携・拡大のための場づくりを行うことで、支援起業家数は67者と前年度を上回り、大手企業との実証事業や資金調達につなげることができた。 また、デジタル技術を活用した新たなビジネス参入など、事業者の未来への投資を支援するため、連続セミナー等により、オープンイノベーションの事例、最先端デジタル技術の動向、ビジネスの潮流等を発信した。
今後の方針	今後の方針の理由
①追加等更に発展させる（事業規模の拡大を伴う継続）	県内市町村や地域の支援機関とのより一層の連携強化により、起業家を支援する県全体のネットワークを構築し、自発的にスタートアップが生まれるエコシステムの形成を図る。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	アウトプット指標であるKPI③、④について大幅に目標を達成し、アウトカム指標であるKPI②についても達成されており、事業が有効であったと考えられる。 KPI④については、目標値に対して10倍程度の実績があり、当初予定していた事業内容に対してどのような事情からこれほど参加者が伸びたのかがより具体的な分析が必要と考える。 KPI①は最も重要な指標であると思われるが、測定ができなくなってしまったということで、次年度に向けてKPIの変更や、把握するための方法を検討する必要があると考える。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
快疎なくま実現プロジェクト	57,553,000

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		くま暮らし・外国人活躍推進課 他都道府県からの転入超過数	くま暮らし・外国人活躍推進課 移住コーディネーターを設置している市町村数	利根沼田行政県税事務所 サイクルツーリズムポータルサイトアクセス数	くま暮らし・外国人活躍推進課 「やさしい日本語」講座・研修受講者
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	当初値 [単位] -459 人	当初値 [単位] 11 団体	当初値 [単位] 0 回	当初値 [単位] 0 人
	計測年月	令和3 年 月	令和3 年 月	令和3 年 月	令和3 年 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 団体	目標値（増分） [単位] 回	目標値（増分） [単位] 人
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	人	団体	回	人
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	人	団体	回	人
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	459 人	2 団体	1,000 回	40 人
	（継続事業のみ） サ. 令和5年度増加分	250 人	2 団体	1,000 回	40 人
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 709 人	目標値（増分） [単位] 4 団体	目標値（増分） [単位] 2,000 回	目標値（増分） [単位] 80 人	
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 団体	実績値（増分） [単位] 回	実績値（増分） [単位] 人
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	人	団体	回	人
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	人	団体	回	人
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	1,591 人	1 団体	11,201 回	38 人
	（継続事業のみ） ツ. 令和5年度増加分の実績値	2,873 人	4 団体	32,746 回	203 人
	目標値に対する達成度合い	1,149 % ①目標値を達成	200 % ①目標値を達成	3,275 % ①目標値を達成	508 % ①目標値を達成
	実績値（増分） [単位]	4,464 人	5 団体	43,947 回	241 人
（継続事業のみ） テ. KPI増加分の累計（実績）	目標値に対する達成度合い 630 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 125 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 2,197 % ①目標値を達成	目標値に対する達成度合い 301 % ①目標値を達成	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	県内市町村等と連携した移住セミナーや相談会の開催、情報発信等により、本県への移住相談件数、移住者数ともに過去最多となるとともに、移住希望地ランキングが全国2位と過去最高となり、転入者数増加に効果があったと考えられる。	地域の移住支援者を養成する研修の開催や、移住支援者等の活動について情報共有、意見交換を行う場の提供等により、移住コーディネーターの役割や設置に対する理解が深まり、設置市町村数の増加に効果があったと考えられる。	サイクリングに興味がある層に対して、市町村と連携した広報・周知がしっかりと届いたため。	企業団体向け講座の新規実施、群大医学部生向け講座が必修講義となったことにより、修了者が大幅に増加した。地域、医療、労働の各分野においてやさしい日本語を普及推進し、目標を達成できた。	

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
① 地方創生に非常に効果的であった	本事業を通じて、本県への移住相談件数、移住者数ともに過去最多となるとともに、移住希望地ランキングが全国2位と過去最高となった。他都道府県からの転入超過数についても目標数値を大幅に超えるなど、移住促進に相当程度の寄与があった。

今後の方針	今後の方針の理由
② 事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	市町村等と連携しながら、これまでの取組を見直し、さらなる移住者や関係人口の増加に取り組む。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	最も重要な指標であるKPI①の転入超過数について、目標値を達成しており、くま暮らしブランド化推進など移住者促進の事業が効果的であったと考えられる。また、KPI②～④についても、対応する事業について効果も上げており、順調に目標を達成している。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
イベント産業の振興による地域活性化事業	23,688,000

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4	
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		スポーツ振興課 + 産業政策課 本交付金事業に関連するイベントの参加者数	産業政策課 大規模MICE（3,000㎡以上）誘致件数	産業政策課 主催者とコンベンションパートナー企業とのマッチング支援数	スポーツ振興課 プロスポーツ官民共創事業件数	
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 29 件	当初値 [単位] 40 件	当初値 [単位] 1 件	
		計測年月	計測年月	計測年月	計測年月	
		令和3 年 月	令和3 年 月	令和3 年 月	令和3 年 月	
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 人	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	
	ク. 令和2年度増加分	人	件	件	件	
	ク. 令和3年度増加分	人	件	件	件	
	コ. 令和4年度増加分	10,150 人	21 件	5 件	6 件	
	サ. 令和5年度増加分	12,750 人	5 件	5 件	2 件	
シ. 上記キ～サの累計（自動表示）		目標値（増分） [単位] 22,900 人	目標値（増分） [単位] 26 件	目標値（増分） [単位] 10 件	目標値（増分） [単位] 8 件	
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 人	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	
	ソ. 令和2年度増加分の実績値	人	件	件	件	
	タ. 令和3年度増加分の実績値	人	件	件	件	
	チ. 令和4年度増加分の実績値	38,140 人	40 件	11 件	6 件	
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	865 人	7 件	0 件	4 件	
			目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い
			7 % ④目標値の達成は5割未満	140 % ①目標値を達成	0 % ④目標値の達成は5割未満	200 % ①目標値を達成
テ. KPI増加分の累計（実績）	39,005 人	47 件	11 件	10 件		
		目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	目標値に対する達成度合い	
		170 % ①目標値を達成	181 % ①目標値を達成	110 % ①目標値を達成	125 % ①目標値を達成	
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	コロナ後の回復期において、MICE開催需要を取り込みながら件数増加させた。多くの方にイベントへの関心を持っていただくことができ、目標を達成することができた。		コロナ後の回復期において、MICE開催需要を取り込みながら件数増加させた。		主催者の要望に応じ、コンベンションパートナーに紹介等、必要な開催支援を行った。	
				各チームの協力もあり、目標を達成することができた。		

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
①地方創生に非常に効果的であった	本事業を通じて、MICE開催が促進され、県内事業者受注が大幅に拡大されたため、また、G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合及び地元主催歓迎セッション等により、本県の魅力（食、観光、文化等）を世界に発信できた。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合の実績を生かしながら、本県が開催地として選択されるよう、時代に即した誘致活動・受入体制整備を実施する。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	令和5年度のみでは、KPI①、③が目標値に達していないが、すべてのKPIについて累計値で目標を達成しており、官民共創により事業創出し、コンベンション企業とマッチング、イベント開催・参加者増につながるという流れができているものと考えられる。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
未来へ訪ぐ！持続可能な農業・農村の確立	43,816,881

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		農政課 農業産出額	農政課 本事業の担い手確保策による新規就農者数(45歳未満)	農政課 本事業の試験研究・実証による新品種・新技術の開発件数	農政課 施設園芸における環境制御技術導入農家数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前(現時点)」をご記載ください。	当初値 [単位] 2,361 億円	当初値 [単位] 222 人	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 124 戸
		計測年月 令和3 年 月	計測年月 令和3 年 月	計測年月 令和3 年 月	計測年月 令和3 年 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	(継続事業のみ) キ. 令和元年度増加分	目標値(増分) [単位] 億円	目標値(増分) [単位] 人	目標値(増分) [単位] 件	目標値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) ク. 令和2年度増加分	目標値(増分) [単位] 億円	目標値(増分) [単位] 人	目標値(増分) [単位] 件	目標値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) ク. 令和3年度増加分	目標値(増分) [単位] 億円	目標値(増分) [単位] 人	目標値(増分) [単位] 件	目標値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) コ. 令和4年度増加分	40 億円	170 人	2 件	7 戸
	サ. 令和5年度増加分	40 億円	170 人	5 件	10 戸
シ. 上記キ～サの累計(自動表示)		目標値(増分) [単位] 80 億円	目標値(増分) [単位] 340 人	目標値(増分) [単位] 7 件	目標値(増分) [単位] 17 戸
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	(継続事業のみ) セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 億円	実績値(増分) [単位] 人	実績値(増分) [単位] 件	実績値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) ソ. 令和2年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 億円	実績値(増分) [単位] 人	実績値(増分) [単位] 件	実績値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) タ. 令和3年度増加分の実績値	実績値(増分) [単位] 億円	実績値(増分) [単位] 人	実績値(増分) [単位] 件	実績値(増分) [単位] 戸
	(継続事業のみ) チ. 令和4年度増加分の実績値	69 億円	187 人	1 件	29 戸
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	未集計 億円	174 人	7 件	5 戸
	テ. KPI増加分の累計(実績)	実績値(増分) [単位] 億円	実績値(増分) [単位] 人	実績値(増分) [単位] 件	実績値(増分) [単位] 戸
ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(案))		実績未発表のため評価不可 ↓ 令和7年3月に公表予定	対面での就農相談を積極的に実施してきたためと思われる。	目標を見据えた課題設計と試験実施が効果的に行われ、目標値と同等程度の研究成果が報告されたため。	環境制御技術による収量増加と、ICT活用による栽培環境の見える化によって栽培に適した管理に改善できることから、導入が進んできた。

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	新たに農業を始めようとする人に対し、必要な基礎的な知識・技術習得の研修によって、実際の就農につながった。 イチゴ・なし・ウメ等の新品種の簡易で効率的な環境制御技術の開発や適切な栽培方法を研究し、生産者に情報提供することで、生産現場における安定生産・生産拡大に寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	就農相談会等への出席を増やし、本県農業の魅力発信を強化するとともに、きめ細やかな相談対応ができるよう、就農相談窓口担当者の資質向上を図っていく。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	一部KPIが達成できなかったが、累計では未集計のKPI以外は目標値を達成しており、事業効果が充分にあったと認められる。 KPI②について、「対面での就農相談を積極的に実施」はもとより、就農して数年後に離農するケースも少なくなく、定着支援がより重要と考える。 今後も対面での就農相談を積極的に実施するような、きめ細やかな取組の継続を期待する。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県移住支援・マッチング支援事業・群馬県起業支援事業	174,777,688

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI1	KPI2	KPI3	KPI4	KPI5
ア. 本事業における重要業績評価指標(KPI)の名称		ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 本移住支援事業に基づく移住就業者数	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 本移住支援事業に基づく移住起業者数	未来投資・デジタル産業課 本起業支援事業に基づく起業者数	労働政策課 マッチングサイトに新たに掲載された求人数	ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 本移住支援事業に基づき18歳未満の世帯等を帯同して移住した世帯数
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] 0 世帯
	※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」に上記記載がない	計画年月 平成30 年 月	計画年月 平成30 年 月	計画年月 平成30 年 月	計画年月 平成30 年 月	計画年月 平成30 年 月
事業実施計画の申請時点でのKPIの目標値設定	キ. 令和元年度増加分	目標値 (増分) [単位] 240 人	目標値 (増分) [単位] 4 人	目標値 (増分) [単位] 30 人	目標値 (増分) [単位] 1,000 件	目標値 (増分) [単位] 世帯
	ク. 令和2年度増加分	240 人	5 人	30 人	1,000 件	世帯
	ケ. 令和3年度増加分	140 人	5 人	30 人	1,000 件	世帯
	コ. 令和4年度増加分	183 人	5 人	30 人	1,000 件	75 世帯
	サ. 令和5年度増加分	271 人	5 人	30 人	1,000 件	75 世帯
	シ. 上記すべての累計(自動表示)	目標値 (増分) [単位] 1,025 人	目標値 (増分) [単位] 24 人	目標値 (増分) [単位] 150 人	目標値 (増分) [単位] 5,000 件	目標値 (増分) [単位] 150 世帯
KPIの実績値	セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値 (増分) [単位] 0 人	実績値 (増分) [単位] 2 人	実績値 (増分) [単位] 26 人	実績値 (増分) [単位] 432 件	実績値 (増分) [単位] 世帯
	ソ. 令和2年度増加分の実績値	0 人	8 人	31 人	715 件	世帯
	タ. 令和3年度増加分の実績値	73 人	6 人	31 人	527 件	世帯
	チ. 令和4年度増加分の実績値	194 人	6 人	30 人	445 件	53 世帯
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	257 人	2 人	21 人	378 件	162 世帯
	テ. KPI増加分の累計(実績)	実績値 (増分) [単位] 524 人	実績値 (増分) [単位] 24 人	実績値 (増分) [単位] 139 人	実績値 (増分) [単位] 2,497 件	実績値 (増分) [単位] 215 世帯
	目標値に対する達成度合い	95 % ②目標値の7割以上達成	40 % ④目標値の達成は5割未満	70 % ②目標値の7割以上達成	38 % ④目標値の達成は5割未満	216 % ①目標値を達成
	目標値に対する達成度合い	51 % ③目標値の5割以上達成	100 % ①目標値を達成	93 % ②目標値の7割以上達成	50 % ③目標値の5割以上達成	143 % ①目標値を達成
	ナ. 実績値累計(テ)の目標達成・未達理由(達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策(仮))	マッチングサイトを利用した就業が当初の想定を下回ったため、令和3年度以前の実績が目標を大きく下回ったが、令和4・5年度の要件改定により、令和4年度以降は概ね目標を達成できている。今後も継続して取り組んでいきたい。	年度ごとの増減があるものの、市町村と連携し積極的な情報発信を行うことで、累計目標を達成できている。	融資が受けられない等の理由から、採択後に辞退する者がいたため、今後は各採択者に対してより丁寧な伴走支援を実施し、事業立ち上げまでのサポートの徹底を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響や人員不足により、企業訪問を通じての新規求人掘り起こしが思うように実施できなかったことが、主要要因と考えられるため	市町村と連携し積極的な情報発信を行うことで、年度、累計ともに目標を上回ることであった。

○交付金事業の効果（地方創生への効果）【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
③地方創生に効果があった	令和4年度にテレワーク移住や関係人口などの新たな支給要件が加わり、さらに令和5年度に子どもに対する加算額の上限が引き上げられたことにより、本支援制度を利用した移住者が増加した。本県の移住者数の増加に一定の寄与があった。
今後の方針	今後の方針の理由
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）	市町村と連携して積極的な情報発信と共に、しっかりと移住支援金等の移住者支援に関する予算を確保していきたい。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	目標に届かなかた取組もあるが、前年度に比べて実績が増えるなど、一定の事業効果があったものと推察できる。 ・人口減少の中、本県に魅力を感じ、移住を希望する人が一層増えるよう、継続的に取り組んでいただきたい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
くま多様な人材就職支援（女性・シニア・障害者）事業	30,857,975

B. KPIの設定・成果

KPI担当課	KPI 1 労働政策課	KPI 2 労働政策課	KPI 3 労働政策課	KPI 4 労働政策課
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称	本事業により新規就業が実現した者の数（新規就業者数）	デジタル技術の習得や仕事への活用促進の支援に関する取組により、デジタル技術を用いている者の数（デジタル活用者数）	多様な人材活躍推進企業の認証数	本事業による障害者向け求人開拓数
オ. 事業実施計画の申請時点 ※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	当初値 [単位] 0 人	当初値 [単位] 1,000 事業所	当初値 [単位] 350 件	当初値 [単位] 700 件
カ. KPIの当初値	計測年月 年 月	計測年月 年 月	計測年月 年 月	計測年月 年 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	目標値（増分） [単位] 令和元年度増加分 → 人 令和2年度増加分 → 人 令和3年度増加分 → 人 令和4年度増加分 → 人 令和5年度増加分 → 500 人 上記～の累計（自動表示） → 500 人	目標値（増分） [単位] 事業所 事業所 事業所 事業所 50 事業所 50 事業所	目標値（増分） [単位] 件 件 件 件 70 件 70 件	目標値（増分） [単位] 件 件 件 件 1,000 件 1,000 件
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	実績値（増分） [単位] 令和元年度増加分の実績値 → 人 令和2年度増加分の実績値 → 人 令和3年度増加分の実績値 → 人 令和4年度増加分の実績値 → 人 令和5年度増加分の実績値 → 338 人 目標値に対する達成度合い → 68 % ③目標値の5割以上達成 実績値（増分） [単位] 令和5年度増加分の実績値 → 338 人 目標値に対する達成度合い → 68 % ③目標値の5割以上達成	実績値（増分） [単位] 事業所 事業所 事業所 事業所 12 事業所 12 事業所 目標値に対する達成度合い → 24 % ④目標値の達成は5割未満 実績値（増分） [単位] 令和5年度増加分の実績値 → 12 事業所 目標値に対する達成度合い → 24 % ④目標値の達成は5割未満	実績値（増分） [単位] 件 件 件 件 89 件 89 件 目標値に対する達成度合い → 127 % ①目標値を達成 実績値（増分） [単位] 令和5年度増加分の実績値 → 89 件 目標値に対する達成度合い → 127 % ①目標値を達成	実績値（増分） [単位] 件 件 件 件 2,275 件 2,275 件 目標値に対する達成度合い → 228 % ①目標値を達成 実績値（増分） [単位] 令和5年度増加分の実績値 → 2,275 件 目標値に対する達成度合い → 228 % ①目標値を達成
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 （達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））	企業の人手不足や民間人材紹介サービスの充実により、県の相談機関やセミナー等を利用せずに就職しやすくなったため	人材育成講座の受講から事業終了までの期間が短く、就職活動中の参加者が、就職決定まで至らなかったため	関係機関への認証制度広報の実施、審査保留案件のアフターフォローの徹底等を実施したため	長年実施の事業のため、関係機関のつながりがしっかりとあり、スムーズに事業が展開できたため

○交付金事業の効果（地方創生への効果）

【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	就労支援センターによる伴走支援やセミナー・ワークショップの開催によって、女性・シニア・障害者の雇用を創出するとともに、企業側にも働きやすい職場づくりを促すセミナー等を実施したことで、様々な人材にとって魅力ある職場づくりに寄与した。
今後の方針	今後の方針の理由
②事業内容の見直し（一部事業の見直しを伴う継続）	本事業で女性のIT人材育成に取り組んだが、IT人材の需要が高く、比較的賃金の高い分野への労働移動が可能なおとから、事業対象を見直し、女性に限定せず、IT人材育成を図るとともに、事業参加者に対して早期の就労支援を行う。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	目標に届かなかった取組もあるが、KPI④本事業による障害者向け求人開拓数において目標値に対する達成度合いが200%を超えるなど、一定の事業効果があったものと推察できる。 極端に達成度合いが低かったものに対しては、原因を分析されたうえで事業または目標値を見直すなどの対応をお願いしたい。引き続き、本事業を通じ、多様な人材のさらなる活躍の推進に期待したい。

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）に係る事業評価

A. 基礎情報

交付対象事業の名称	実績額（総事業費） [単位：円]
群馬県プロフェッショナル人材戦略拠点事業	12,158,573

B. KPIの設定・成果

KPI担当課		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		労働政策課 年間相談件数	労働政策課 年間成約件数	労働政策課 デジタル分野に関する相談件数	-
KPIの当初値	オ. 事業実施計画の申請時点 <small>※事業実施計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。</small>	当初値 [単位] 216 件	当初値 [単位] 33 件	当初値 [単位] 0 件	当初値 [単位] -
	計測年月	計測年月 年 月	計測年月 年 月	計測年月 年 月	計測年月 年 月
事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	（継続事業のみ） キ. 令和元年度増加分	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ク. 令和2年度増加分	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ク. 令和3年度増加分	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） コ. 令和4年度増加分	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件	目標値（増分） [単位] 件
	サ. 令和5年度増加分	230 件	41 件	41 件	-
	シ. 上記キ～サの累計（自動表示）	目標値（増分） [単位] 230 件	目標値（増分） [単位] 41 件	目標値（増分） [単位] 41 件	目標値（増分） [単位] -
KPIの実績値 <small>※見込みではなく実績をご記載ください。</small>	（継続事業のみ） セ. 令和元年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） ソ. 令和2年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） タ. 令和3年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件
	（継続事業のみ） チ. 令和4年度増加分の実績値	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件	実績値（増分） [単位] 件
	ツ. 令和5年度増加分の実績値	245 件	34 件	20 件	-
	テ. KPI増加分の累計（実績）	実績値（増分） [単位] 245 件	実績値（増分） [単位] 34 件	実績値（増分） [単位] 20 件	実績値（増分） [単位] -
	ト. KPI増加分の累計（実績）に対する達成度合い	107 % ①目標値を達成	83 % ②目標値の7割以上達成	49 % ④目標値の達成は5割未満	-
ナ. 実績値累計（テ）の目標達成・未達理由 <small>（達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策（案））</small>	広報等により、相談件数が目標値を超えた。	相談があったうち、仲介を行う企業と人材の間で成約に繋がらないことがあった。成約に繋がるよう、今後も丁寧に支援をしていく。	デジタル分野に関する相談自体が少なかった。今後は、デジタル分野に関する相談を行っていることも、周知に注力していく。	-	

○交付金事業の効果（地方創生への効果） 【全員】

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	本事業を通して245件のマッチング実績を創出し、副業人材活用セミナーを開催するなど、地方における雇用創出に一定程度の寄与があったと考えられるため。
今後の方針	今後の方針の理由
③事業の継続（事業変更を伴わない継続）	これまで通りマッチングやきめ細やかなフォローアップに加えて、ヒアリングに際し、デジタル技術の活用による課題解決と、そのために必要な人材活用の提案に力を入れていく。

外部有識者評価	有識者コメント
①（本事業が地方版）総合戦略のKPI達成に有効であった	<p>目標に届かなかった取組もあるが、KPI④年間の相談件数は目標値を超えるなど、一定の事業効果があったものと推察できる。</p> <p>KPI③デジタル分野に関する相談件数のKPIは未達成であるが、年間の相談件数は広報等をおして増えたということで、デジタル分野に関する相談についての広報も、より一層力をいれたい。</p>